

平成30年度卒業論文題目一覧

【家族社会学ゼミ】(木戸 功)

- ・ 多様化した女性の働き方 ―働く女性に視点を置いて―
- ・ 「現代社会においてディズニーはどのように関わっているのか」
- ・ 食と家族のあり方 ～戦後日本社会の変容と家族～
- ・ 現代社会における親密な関係性 ～ポリアモリーは日本社会に定着するのか～
- ・ スポーツと女性の関わり ―ラクロス経験者への調査を踏まえて―
- ・ 『女性は美しくあるべき』は誰のためか
- ・ CMIにおける家族描写の変化 ―80年代から現在までを比較して―

【マスコミ社会心理学ゼミ】(小城 英子)

- ・ 同性のアイドルを応援する心理について ―女性アイドルを推す女性ファン―
- ・ 「団捨離」「ミニマリスト」ブームから見た物を持たない心理
- ・ ラジオの利用と満足 ―現代における音声メディアの魅力―
- ・ 一般的商品とマニアック商品の情報検索行動における差異
- ・ 音楽フェスの魅力 ―多様化するオーディエンスの心理的側面から―
- ・ 自動車メーカーのブランディング
- ・ B専女子の心理
- ・ アップル社の広告が消費者に及ぼす影響
- ・ ソーシャルギフトの利用と心理
- ・ テレビの娯楽としての副音声の利用と満足
- ・ 社名変更における企業イメージの変化 ―消費者心理から捉えた実例検証―
- ・ テレビ広告におけるユーモアが及ぼす効果
- ・ 接触系アイドルのファン心理
- ・ アイドルグループを応援する心理

【対人社会心理学ゼミ】(菅原 健介)

- ・ 「おフェロ女子」の流行から見る ファッション志向性と女性の配偶者戦略
- ・ 声優のマルチ化がアニメ文化に及ぼす影響
- ・ 舞踊による感情表現と共感 ―ダンスを通して感情を共有できるのか―

- ・ 羞恥表情の対処的機能 —他者に与えた損害の程度が赤面と微笑の適切性に及ぼす影響—
- ・ ディズニープリンセスが視聴者の女性観に及ぼす影響 —白雪姫、シンデレラ、アリエル、ラプンツェルの比較から—
- ・ ネットとリアルの狭間で生きる者たち —仮想世界が現実性及ぼす「障害」の研究—
- ・ 会話場面における笑顔が観察者による会話者の印象形成に及ぼす効果 —会話の雰囲気認知を媒介とした検討—
- ・ 親子関係が青年期の対人欲求に及ぼす影響 —賞賛獲得欲求と拒否回避欲求について—
- ・ 他者との親密度と対人距離がストレスに及ぼす影響 —親和的葛藤理論の視点から—
- ・ CMの効果と媒体の研究 —スマホで見ると親近感が湧くのか—
- ・ 方言と共通語のコードスイッチが話者の印象に与える影響 —ゲイン・ロス効果からの検討—
- ・ 東京における若年女性の居留意向を規定する要因 —「住みたい街」の条件とライフスタイルの関連—
- ・ 課題への認知的方略としての「能天気」 —成功する可能性があるのに、なぜ努力を怠るのか—
- ・ ハイヒールの使用を規定する心理的要因 —メリット、デメリットおよび自己意識との関連—

【文化人類学ゼミ】(石井 洋子)

- ・ 現代日本で多様な性を生きる —「女性」として暮らすセクシュアルマイノリティの語りを通して—
- ・ 純日本製へのこだわり —洋楽器を日本で作り続ける職人たち—
- ・ 僧として生きる —地域とのつながりを大切に—
- ・ 盲導犬と共に生きる
- ・ 現在の剣道の在り方 —文化人類学からのアプローチ、4名への聞き取り調査を通じて—
- ・ オーダーメイドの文化人類学 —靴職人へのインタビューを通して—
- ・ 一着の服にかける思い —岐阜・繊維産業に携わる人々へのインタビューを通して—
- ・ ピアノと社会の関わり —ピアノ調律師の思い—
- ・ 注意欠陥多動性障害当事者(ADHD)の社会進出 —不注意・多動・衝動という「個性」を武器に—
- ・ 3K職場と言われる自動車整備 —インタビューを通して「ブリコロール(器用人)」を見る—
- ・ 余暇活動の文化人類学 —障がいを持った子どものために活動する人々へのインタビューを通して—
- ・ 舞台表現者として生きる —横浜の小劇団で活躍する人々—
- ・ 障がい者教育の文化人類学 —日本の障がい者教育を複眼的にみる—

【比較文化学ゼミ】(大橋 正明)

- ・ 外国人技能実習制度の諸問題 —ある事例に見る問題抽出の試み—
- ・ 今後の日本でのラクロスの発展 —北米の歴史から予測する—
- ・ どんな女性がDVを受けやすいのか —DV被害者女性の属性と頻度の関係の有無—

- ・ サング保護活動にはどのような違いがあるのか ～和歌山県の白浜町と串本町を例に～
- ・ 日本の母子世帯の貧困 ―生活保護制度は母子世帯の貧困を救うのか―
- ・ 日本におけるエコツーリズムの現状とその問題点 ―埼玉県飯能市をケースに―

【職業社会学ゼミ】(大槻 奈巳)

- ・ 中小企業はワークライフバランスをどう実現しているのか
- ・ 大卒者でフリーターになったのはなぜか
- ・ 女子学生の就職活動に与える親の影響
- ・ 障害者雇用促進における支援者からみた実践と課題
- ・ 雇用者は私生活をどのように充実させているのか
- ・ 外部サポート導入と妻の二重負担軽減
- ・ 産休・育休制度と産後の復職について
- ・ 転職者のキャリア ―転職成功への鍵とは―
- ・ 病児保育の現状と課題
- ・ 企業のLGBTに関する現状と課題
- ・ どんな戦略でドトールコーヒーは生き残っているのか
- ・ 女性管理職を増加させるための企業の現状と課題
- ・ 日雇アルバイトの問題点 ―キャリア形成の視点から―

【人格心理学ゼミ】(高木 秀明)※2019年度より廃止分野

- ・ 化粧の目的とパーソナリティ
- ・ 対面・SNS別にみる青年期の自己開示と精神的満足感について
- ・ 音楽聴取による感情体験について
- ・ 大学生における恋愛依存について
- ・ 内部障害者の自己開示について 先天性心疾患患者へのインタビュー調査から

【組織心理学】(藤原 勇)※2019年度より新設分野 ※下記は京都橘大学通信教育課程での卒論

▶2017年度

- ・ 職場におけるPMリーダーシップとビッグファイブ性格特性の関連性: PM類型の理想を探る
- ・ 看護管理者の内発的動機づけが新人看護師教育意識に及ぼす影響

▶2018年度

- ・ 特別支援学級に在籍する児童の交流学級における学級親和を促進する要因：交流学級担任の視点から
- ・ 通信制高等学校に在籍する生徒のレジリエンスとソーシャルサポートの受容が学校適応感に及ぼす影響